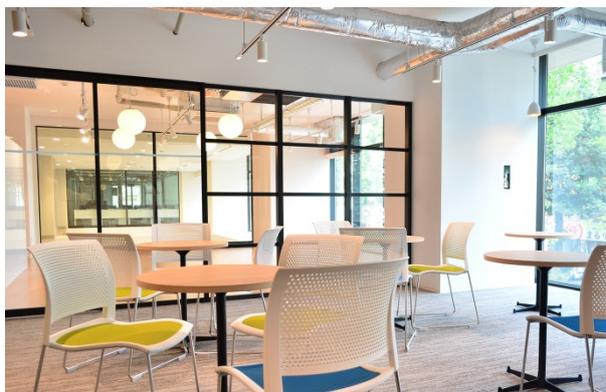


持続可能な住宅地推進プロジェクト（東急田園都市線沿線地域）

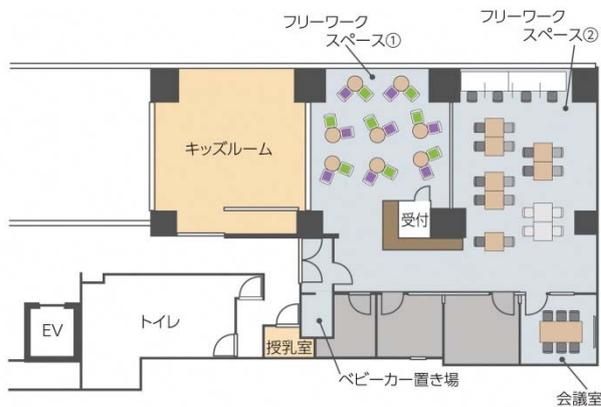
美しが丘 ワーキングスペース

持続可能な住宅地推進プロジェクト（東急田園都市線沿線地域）の取組の一つとして、2018年10月に、CO-NIWA たまプラーザ内にシェアワークスペースが開設しました。

シェアワークスペースには、キッズルームが併設され、託児専門スタッフに子供を預けることで身近で安心して仕事ができる環境が整備されています。



CO-NIWA たまプラーザ シェアワークスペース



平面プラン

写真、図については、
次のHPより引用しています。

出展：<https://www.selun.ne.jp/share/>

田園都市で暮らす、働く

少子高齢化が進む郊外住宅地を、自立した持続可能なまちにしていくためには、居住者数の維持だけでなく、地域に暮らし、活動の場とする人々が、様々な活動を通じて、地域と関わり、充実したライフスタイルが実現できるまちとなることが望まれます。今後、次世代郊外まちづくりでは「田園都市で暮らす、働く」をテーマとし活動を進めていきます。ここで意味する“働く”とは、就労や通勤のみではなく、子育てや地域活動、さらには自分の好きなコト、やりたいコトを実現するなどさまざまな活動を指します。多様な活動が地域で生まれるとこで、それぞれのまちがより豊かで、持続可能なものになっていくと考えています。

【引用：次世代郊外まちづくり通信 vol.25】